

大地

宮沢正美県政報告 第18号

発行 宮沢正美事務所
 連絡先 三島市南本町14-15
 TEL 055-991-1818
 FAX 055-991-1828

THE 3RD IZU MARATHON

2月21日 盛大に開催



第3回伊豆マラソン大会 **2071人が3市1町を駆け抜ける!**

◆伊豆の活性化に向けての大イベント!

「第3回伊豆マラソン」が、県内はもちろん全国各地から2千人余名のマラソン愛好者を伊豆にお迎えして、春の日差しと多くの市民の温かい声援の中で盛大に開催された。『富士山といっしょに走ろう!』がキャッチフレーズであり、いずれのコースのゴールとされた三島大社には沿道を埋め尽くす観衆が詰めかけ、勇壮な三島しゃぎりの競り合いも大会に華を添えていた。

「伊豆はひとつ」の合言葉の下、伊豆市、伊豆の国市、函南町、三島市の協働で開催される意義は大きく、伊豆の再生に向けて地域が連帯していく必要性を改めて痛感した。霊峰富士を目指して走りぬくランナーからは、他に類の無い素晴らしいコースであるとの高い評価も多く寄せられた。この大会が成長し全国から多くの参加者を迎えることは、低迷する伊豆観光の活性化にも大いに寄与できるものと考えられる。伊豆の豊かな自然、歴史や文化を全国に発信していく好機と捉え、地域住民総参加のマラソン大会として発展していく事が期待される。



◆3年連続出場! 今年は3キロ・一般の部

平成8年「伊豆ナンバー」誕生一周年を記念して創設された「伊豆マラソン」には、地域の連携がキーワードとされ、議員の果たす役割も欠くことのできないものとなる。今年は多くの市議会議員の皆様もボランティアとして参加、宮沢議員は選手として汗を流して大会を盛り上げた。

◆小・中学生ランナーに大きな期待!

約500名の小中学生がエントリーし、それぞれの部で力走して大会を盛り上げた。今後の発展の大きな原動力として更なる参加者を促していきたい。



走りきることへの拘り!



私は高校時代に陸上競技部に所属、長距離ランナーとして青春時代を謳歌した。決して強いチームでは無かったが、高校駅伝や下田駅伝など多くの大会に良きチームメイトと共に参加した貴重な思い出がある。このことが市民マラソンにも参加するきっかけとなり、全国のランナーが憧れている青梅マラソンにも挑戦した。「青梅マラソン」の主役はランナーよりむしろ沿道の観衆にあったような気がする。角々で「がんばれー」の声援とともに飲み物や飴などを提供して頂き、大きな力を貰って走りきった達成感は忘れることができない。走りきることは、政治をやりきることに繋がる。『為政清明』を旨として、全力で県政発展のために頑張っていきたい。

宮沢正美